

# あすなろ

連絡先：電機労働者懇談会気付 沖電気の職場を明るくする会  
東京都品川区二葉2-20-8 染野ビル2F 電話 03(6421)5323

ホームページ 沖電気の職場を明るくする会 検索 **クリック**



ひめゆり

花言葉：誇り

「会」は沖電気とその関連などで働く人々が「安心して人間らしく働ける職場」を願って創られました。正規・非正規を問わず誰でも入会できます。略称はOAK。

《設立1986年》

労働相談は無料です。ホームページの「相談窓口」で常時受け付けています。「沖電気の職場を明るくする会」で検索してください。

## 安心して働ける 職場の確保を



社員株主として質問に立った檜垣國雄さん

- 1、メカトロシステム事業の構造改革について、人員削減がされているが、具体的に明らかにしてほしい。
- 2、海外連結子会社数と海外従業員数は何人となっているのか。
- 3、為替差益が2億円と記載されているが、損益計算書に記載されていないのはなぜか。
- 4、OKI単体の女性社員数は何人で比率は何パーセントか。
- 5、契約社員の無期転換の実態や処遇改善はどのように進めるのか。
- 6、静止立ち作業は現在も「腰痛予防対策指針」に基づいた対応がされていない。早急に対策を実施すべきだ。

質問状の全文はHPに掲載。回答要旨は順次掲載予定

## 健康で働ける 職場を最優先で



株主として質問に立った真喜志晃さん

- 1、コンプライアンスに関し、内部通報規定が通報のみならず相談も受付けているが、実態はどうなっているか。
- 2、メカトロシステムは661人減、プリンターは407人減となっているが、構造改革の結果か。
- 3、ストレスチェックとその対策について、実態と対策はどうなっているか。
- 4、在職死亡の実態や、傷病休暇者中、精神疾患での休職者数はどうなっているか。
- 5、いじめをはじめとするハラスメントも増加しているが、防止策はどのようにしているか。
- 6、障がい者雇用の実態と法定雇用率はどうなっているか。

# 真の働き方改革で、OKIの未来を創ろう なくそう「生活不安・雇用不安・将来不安」

【第94回OKI一定時株主総会が開催される】

6月22日に東京都内の日経ホールで第94回OKI一定時株主総会が開催されました。

総会には当会から3名が参加。全体で約120名程度が出席。総会では監査報告、事業報告、決議事項の提案、事前に提出された質問への回答がされた後、11名の株主からも質問がありました。

会場からの質問では、「売り上げ減少と株価値迷への経営陣の責任と対応策」「成長戦略をどう描いているのか」「業績低迷の中で役員報酬は適切なのか」などに質問が相次ぎました。

### 職場の切実な問題に 真摯な対応を

当会から参加した株主からは、「パワハラ・セクハラ問題の対応」「長時間労働と在職死亡」

### 経営責任を問う 声が・・・

「契約社員の実態と待遇格差の是正」などの質問をしました。会社からは「職場のパワハラ対策も大事な課題」「障がい者も働きやすい環境づくりに努めていく」「契約社員の無期転換説明は順次実施し、待遇改善についても、現在裁判で争われている他社の判決結果なども踏まえ対応していく」などの回答がありました。今後の対応を見守っていく事が重要です。



会場前で株主や通行人の皆さんに職場新聞「あすなろ」を渡し訴えました。



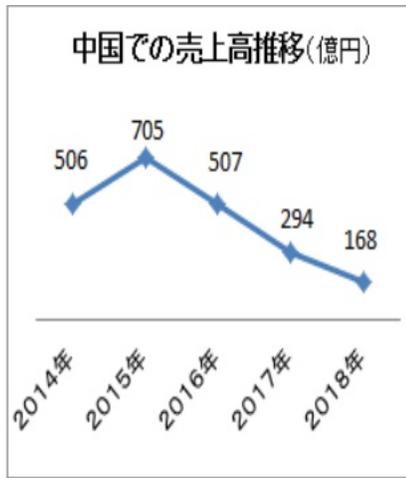
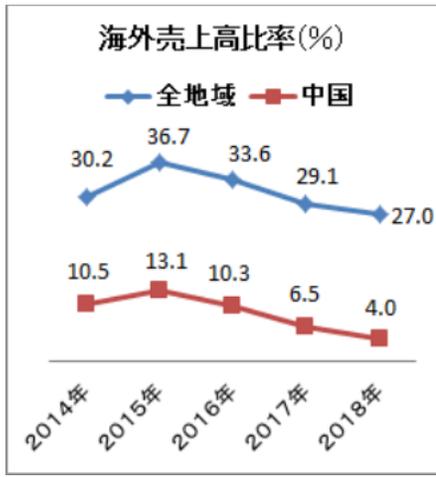
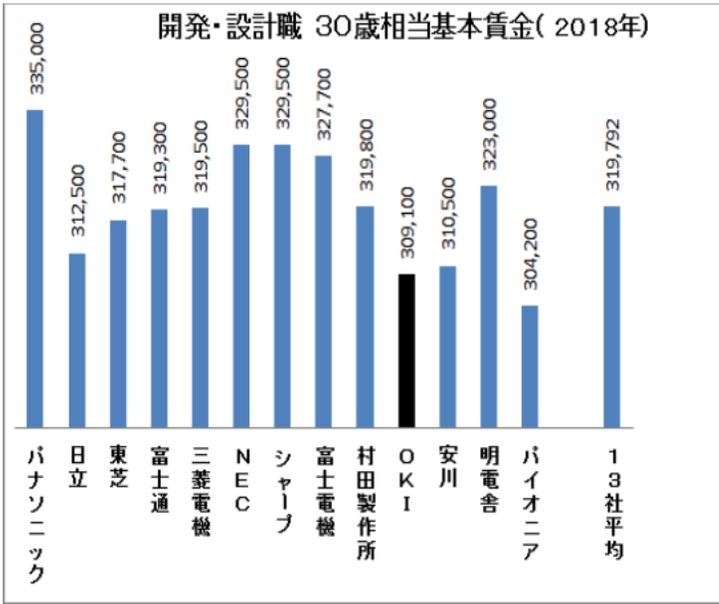
沖縄のニュースを見るたびに、沖縄県民の平和への思いが国内でも強く、また特別なものであることを感じます。太平洋戦争により、平和な暮らしを奪われ四人に一人が亡くなるという悲惨な状況になり、戦後になっても米軍の占領下におかれ、その爪痕を残し続けている事が、平和を求める大きな原動力であることは言うまでもありません。▼

現政権になってから、軍事予算を大幅に増やされ、外交においては「対話より圧力」といった態度が多くなり、戦時中に逆戻りという不安も感じられます。特に沖縄では県民が望まない軍事施設の建設が強行され、大きな不安を与えています。ここ数年、政治家など沖縄の各界の方々の平和を思うスピーチの言葉が一つ一つ重く感じ取れます。▼

先日の沖縄慰霊の日の戦没者追悼式では中学生の相良倫子さんが、自作の平和の詩「生きる」を朗読しました。今生きていること、そして戦時中は多くの方々が生きたくても生きられない状況だったことを、自分の言葉でしっかりと語り、感動的な内容でした。その時の動画や詩の内容はネットで公開されていますので、見ることをおすすめします。

▼沖縄の平和を勝ち取るために、時には国家権力に立ち向かってまで運動を続けられた方々、そして永久的に安心して暮らせる事を待ち望んでいる沖縄県民の願いが早くかなうことを祈っています。政府は沖縄の悲惨な歴史を軽んじることなく、沖縄県民の思いをしっかりと受け止めてほしいものです。

《沖電気を考える》 第122回  
電機各社と比較して低賃金



OKI 海外頼みの経営戦略が裏目  
単体 2年連続の赤字 AMモリストラ

●海外売上高激減  
粉飾決算など杜撰な海外経営が足枷

2012年はスペイン子会社の粉飾決算が露呈し、07年からの純利益での累積損は308億円に達しました。15年発生の中国の

販売会社での売上債券未回収は189億に達し、今期も貸倒引当金を115億円計上。16年には沖ブラジルで株価評価損65億円。為替影響も加わり、OKIは海外影響が大きい。今期の営業利益

は予想の130億円を下回る77億円。国内でもモリストラは昨年欧州で構造改革。今年国内ATM関連のメカトロ事業でもモリストラを計画。経営責任の社員への転化は許せません。

(億円)	従業員数			営業利益		2018年	
	2017年	2018年	前年比	2017年	2018年	売上高	営業利益率
情報通信システムズ	6,838	7,023	185	144	135	1727	7.8%
メカトロシステムズ	4,767	4,106	-661	-118	-51	935	-5.5%
プリンタ	4,875	4,468	-407	10	27	1089	2.5%
EMS	1,309	1,326	17	21	22	477	4.6%
その他	1,219	1,595	376	34	20	152	13.2%
全社(本社費用など)	456	460	4	-65	-77		
連結合計	19,464	18,978	-486	25	77	4380	1.8%
(★連結最終損益)				★47	★59		
沖電気単体	4,063	4,024	-39	50	-9	2040	-0.4%
(★最終損益)				★-187	★-20		

最低賃金の大幅引き上げを  
日本弁護士連合会会長が声明発表 (要旨)

中央最低賃金審議会は、昨年、全国加重平均25円の引上げ(全国加重平均848円)を答申し、地域別最低賃金額が決定された。

しかし、時給848円という水準は、1日8時間、週40時間働いたとしても、月収約14万7000円、年収約177万円にしかない。この金額では労働者が賃金だけで自らの生活を維持していくことは到底困難である。日本の最低賃

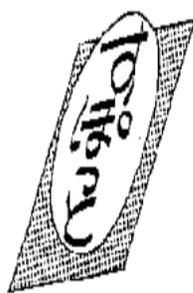
金は諸外国と比較しても著しく低い。フランス、イギリス、ドイツの最低賃金は、日本円に換算するといずれも1000円を超えている。米国内でも、ニューヨーク州などが15ドルへの引上げをするなど、全米で最低賃金大幅引上げが相次いでいる。日本の政府目標は2020年までに平均1000円の地域での50円以上の引き上げを答申すべきである。

知らないうちに  
加害者に!

【埼玉・本庄】

沖電気の傷病休暇中の労働者の85%が精神疾患で休業しています。「業務の適正な範囲を超えて」苦痛を与える行為(パワハラ)、言葉や態度など精神的な嫌がらせを継続的に行う(モラルハラスメント)など33種類もあるというハラスメント。知らず知らずのうちに加害者になっているかもしれない。年1回のコンプライアンス教育の中で、ハラスメント教育が実施されていますが、理解を深めるには不十分です。

悪いし参っています」「止めたところも水溜まりの上だったりして大変」「駐車場代払っているのに、何とかして欲しい」などの声が出ています。しかし対策が一向に取れていません。梅雨明けしましたが、これからも雨は降ります。砂利を敷くとか、対策に手を付けて欲しいものです。



コンプライアンスに  
もっと思いつくこと

【埼玉・蕨】

教育と同時に、背景となる慢性的な過重労働、余裕のない働かされ方の改善に手を付けるべきではないでしょうか。

駐車場の整備を  
してほしい

【群馬・富岡】

六月に入って、梅雨らしく雨の日が、増えまして。毎年のことですが、土の駐車場はこの時期は特に大変です。第五駐車場は300台近く駐車できる駐車場ですが、水溜まりがいたるところに出てきます。

ここ最近、社内だけでなく業界全体で働き方に関するコンプライアンス意識が高まっているように感じます。コンプライアンス教育も徹底され全社的に共有されつつあります。昔から慣例的にやっているからという理由で続けられていたルールに反した働かせ方とか、サービスクラスなどの問題を大幅に減らすことを期待しています。

沖電線がOKIの  
完全子会社に

OKIは沖電線株の3

7・45%を持ち、持分適用の関係でしたが、4月1日に87・17%(取得原価114億円超)を取得して完全子会社に。同時に沖電線の子会社5社も連結子会社になりました。EMS事業(基板組み立てなど受託生産)の強化が目的でした。沖電線取得に係り、時価評価の見直しで11億円超、純資産と原価差(負ののれん)で2億円超。計13億円の特別利益が報告されています。

OKIが「テクノロジィ・リーダー・100」に選出  
世界的な情報発信機関のトムソンロイターが「Top100グローバル・テクノロジィ・リーダー2018」を発表した。世界の5千社超のテクノロジィ企業からOKIも選出。  
トップ100に選ばれた日本企業は次の13社。アドバンテスト、NEC、沖電気、キヤノン、シャープ、セイコーエプソン、ソニー、東京エレクトロン、フジクラ、富士通、富士フィルム、ルネサスエレクトロニクス、ローム。